

第17次 中期経営計画

～2022年度進捗状況～



愛媛銀行は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

2023年5月11日（木）

目次



中期経営計画の進捗状況について

1. 主要計数目標（単体）

2. 2022年度の主な取り組み

（参考）主要KPI

1. 主要計数目標（単体）

計画最終年度の主要計数目標（単体）

		2021年3月期実績 (中計直前期)	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期計画 (中計最終年度)
収益性	当期純利益	50億円	53億円	48億円	50億円以上
	コア業務粗利益	282億円	299億円	296億円	282億円以上
	OHR ^{※1}	70.6%	68.1%	69.1%	73%未満
成長性	総預金残高	24,874億円	25,803億円	26,251億円	25,000億円
	貸出金残高	17,655億円	18,370億円	19,275億円	18,500億円
健全性	自己資本比率 ^{※2}	7.92%	7.80%	7.73%	8%以上
	開示債権比率 ^{※3}	1.94%	1.73%	1.74%	1%台

※1 OHR：営業経費 ÷ コア業務粗利益

※2 自己資本比率：自己資本額 ÷ リスクアセット

※3 開示債権比率：開示債権残高 ÷ (貸出債権残高 + 保証等債権残高)

2. 2022年度の主な取り組み

金融プラス1戦略 進捗事例①



西瀬戸マリンパートナーズ
NISHISETO MARINE PARTNERS

「海事産業交流会2022」開催 (2022年11月)

～西瀬戸パートナーシップ協定共同施策～

- 2022年11月4日 愛媛県今治市で開催、瀬戸内海地域を中心に海事産業約170社の経営者が参加
- 参加者が交流する場を設けて協業や環境対応などでの情報交換を促し、県内の基幹産業の活性化を目指す
- 2020年1月に山口フィナンシャルグループとの間に締結した「西瀬戸パートナーシップ協定」の枠組みにおける取り組みのひとつ



トピックス

海事都市「今治」を舞台に開催される
西日本最大の国際海事展
「バリシップ2023」にてシップファイナンスを
手掛ける金融機関として特別講演予定



2023年5月25日～27日

バリシップ2023
BARI-SHIP IMABARI MARITIME FAIR

金融プラス1戦略 進捗事例②

株式会社愛媛CATVとの 地域DX推進に係る包括連携協定 (2022年11月)

● 協定の内容

- ① 地域DX推進のための共同提案
(ローカル5G※1支援サービス、画像AI※2の活用推進)
- ② 地域DX推進による地域活性化
- ③ DX人材の育成・確保に関する支援
- ④ 地域DX推進に関する情報交換



SDGsの推進に係る食品ロス削減及び 特産品のPRに向けた連携協定

● 協定の内容

- ① 本連携事業に関する周知・広報
- ② ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」及び関連事業の事業者に向けた普及啓発活動
- ③ 学生が一次産品の収穫等の支援を行う社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」の実施
- ④ 八幡浜市・上島町の特産品PR及び地域活性化に向けた取り組み



第2回 PPP/PFIセミナー・官民対話を開催 (2023年2月)

- 2020年10月以降、山口フィナンシャルグループとPPP/PFI推進に向けセミナー等を開催。2021年度には内閣府の支援を受け、愛媛県の地域プラットフォーム形成に地域一体となって取り組む。
- 地域プラットフォームの第2回の活動として、地方公共団体職員、民間事業者等を対象に、「セミナー」と「官民対話（サウンディング）」を実施



株式会社あおぞら銀行との 顧客サポート業務に係る基本合意 (2022年12月)

● 基本合意内容

当行のお取引先等に対する以下の取組み

- ① 経営改善、再生支援、事業承継、M&A
- ② 資金調達手段の多様化への対応
- ③ 経営効率化及び事業リスクヘッジに資するソリューション提供
- ④ 販売・仕入・購買・業務提携等事業ニーズに関するビジネスマッチング
- ⑤ ベトナム進出支援
- ⑥ その他当行とあおぞら銀行で合意した事項

デジタル戦略 進捗事例① 〈個人向け〉

お客さまの利便性向上を目的に、「ひめぎんアプリ」のバージョンアップを随時推進

▼スマートフォンアプリ「ひめぎんアプリ」



〈近年の機能拡充〉

第4次開発 (2022年6月)

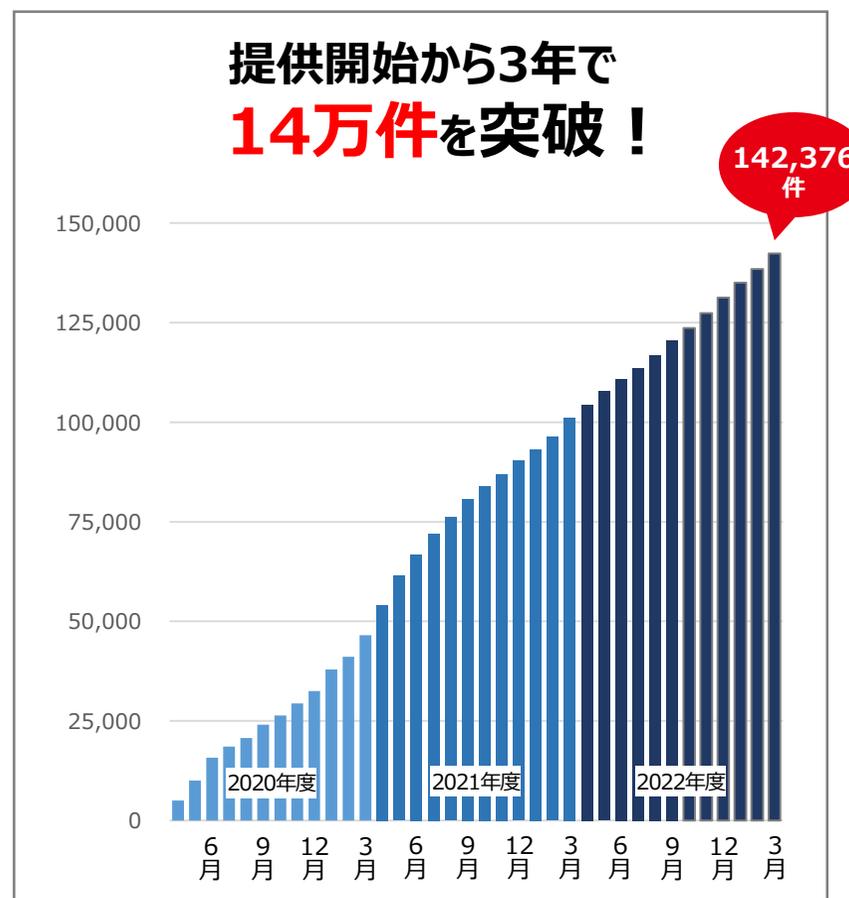
- 振込機能
- 定期預金の作成・解約
- 住所・電話番号変更

第5次開発 (2023年3月)

- アプリ口座（通帳レス・印鑑レス）の新規開設

今後も便利な機能を
順次追加予定

▼「ひめぎんアプリ」ダウンロード数の推移



デジタル戦略 進捗事例② 〈法人向け〉

「ひめぎんビジネスポータル」 取扱い開始 (2022年10月)



- パソコン等の簡単な操作で各種預金残高照会や融資申込等の機能を利用できる法人・個人事業主向けサービス
- 本サービスを通じて、デジタルを活用したお客さまとのリレーションシップ強化を図る



〈主なサービス内容〉

- ① 各種預金残高照会
- ② 借入金残高照会
- ③ 入出金明細照会
- ④ 融資のご案内と申込

改正電子帳簿保存法&インボイス制度 まるわかりセミナー開催 (2022年10月)

- 2022年1月改正の電子帳簿保存法と2023年10月から始まるインボイス制度に関するセミナーをオンラインで開催

〈開催内容〉

- ① 電子帳簿保存法の概要と改正内容
- ② インボイス制度の概要
- ③ 対策方法の案内
- ④ IT導入補助金の紹介各種預金残高照会

「DX認定事業者」の認定取得 (2023年2月)



(注) DX認定制度は、「情報処理の促進に関する法律」に基づき、経営ビジョンの策定やDXに関する戦略および体制の整備を行うなど、「デジタルガバナンス・コード」の基本的事項に対応し、DX推進の準備が整っている事業者を経済産業省が「DX認定事業者」として認定する制度

ESG・SDGs戦略 進捗事例

2022年2月にサステナビリティ委員会を設置し、地球温暖化防止に向けた取り組みや、地域企業のSDGs経営を支援する取り組みを推進

2022年11月

四国電力株式会社との 地域社会・地域企業のカーボンニュートラルに 向けた取組支援にかかる連携協定

〈協定内容〉

- 地域社会・地域企業のカーボンニュートラル（CN）の実現に向けた情報提供や取組提案
- 地域のCN対策促進に向けた啓発活動
- グループ会社を含めた両社が提供するCNの実現に資する商品・サービス等の紹介
- CNに向けた取り組みを支援する商品・サービス等の開発



2022年4月～

サステナブルファイナンスの取扱い

取扱い
商品

- ひめぎんグリーンローン
- ひめぎんサステナビリティ・リンク・ローン
- ひめぎんサステナブル・サポートローン

外部機関の評価を必要としない、当行が評価する「自行評価型ファイナンス」により、お客さまのサステナブル経営を後押し。

2022年9月：ひめぎんグリーンローン 実行

2023年3月：ひめぎんサステナビリティ・リンク・ローン 実行

2023年2月

西条支店をZEB（ゼブ）で新築し BELS認証取得（五つ星★★★★★）

～太陽光発電の余剰電力は四国電力株式会社に売却～

ZEB（Net Zero Energy Building）とは
必要なエネルギーを自然エネルギーや高機能設備による省エネで賄い、人と環境にやさしい建築物。

BELS認証とは

省エネ性能表示の認証制度の1つで、一次エネルギー消費量削減率によって、星の数でランク付けされる。



「SDGs経営立ち上げ支援サービス」

〈累積支援先数の推移〉



人財戦略 進捗事例①

人財育成

メタバースを活用した就活イベント開催 (2023年2月)

- 仮想空間「メタバース」を使って就活生向けのイベントを開催
- 企業概要を紹介動画などのほか、行員との座談会の機会も
- 今後もビジネスでのメタバース活用可能性を多面的に検討



※メタバースとは

「超越した」を意味するメタ (meta) と、「世界」を意味するユニバース (universe) を組み合わせた造語で、インターネット上に構築された 3次元仮想空間のこと。利用者が自身のアバターを操作することにより、コミュニケーションを取ったりビジネスを行ったりすることが可能となる

初任給の引上げを実施 (2023年4月)

- 未来を担う優秀な人財確保を目的に、高卒・短大卒・大学卒・大学院卒の全ての階層における初任給を10,000円引上げ

人財育成

省庁・異業種への派遣 (若手育成)

- 若手行員22名が異業種・省庁への武者修行出向
- 脱炭素分野の知見習得のため環境省へ出向

「カムバック採用制度」新設 (2022年9月)

- 定年退職前に当行および当行関連会社を退職した元行員（元社員）が再び就職できるようにする制度
- 退職者には他社などで身に付けた様々なキャリアや知識を発揮できる就業機会を提供
- 現役職員にも将来的なキャリアアップの選択肢を提供

平均2%のベースアップを実施 (2023年4月)

- 人的投資の一環として、全職員を対象に平均2%のベースアップを実施

女性活躍

小学校児童への金融教育を実施 南商事株式会社とのコラボ企画

～アイスクリーム屋さんになっちゃおう♪ワクワク！体験イベント～

- 小学校低学年児童を対象に、「食育」と「金融教育」を織り交ぜた体験イベントを開催
- 「アイスクリーム屋さん」として、材料購入からアイスクリームづくり、模擬販売などを通じて、「食」や「金融」について学ぶ
- 両社女性チームの連携企画

株式会社清水屋との連携 支店の駐車場にコインランドリー店を出店

- 異業種との連携を通じ新たな価値を創造し、地域の活性化に繋いでいく取組みの一環
- 2022年6月に砥部支店、2022年7月に桑原支店の駐車場スペースにそれぞれ出店



(桑原支店コインランドリー)

健康経営

「健康経営優良法人2023」認定 大規模法人部門

行員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取組みが優良であると認められる



2023
健康経営優良法人
Health and productivity

* 経済産業省および日本健康会議が実施する認定制度

働き方改革

副業によるスキルアップの醸成

- 副業従事者数60名（うち個人事業主型副業27名）（2023年3月末時点）
- 民間企業に週1～2日勤務できる制度などを検討予定

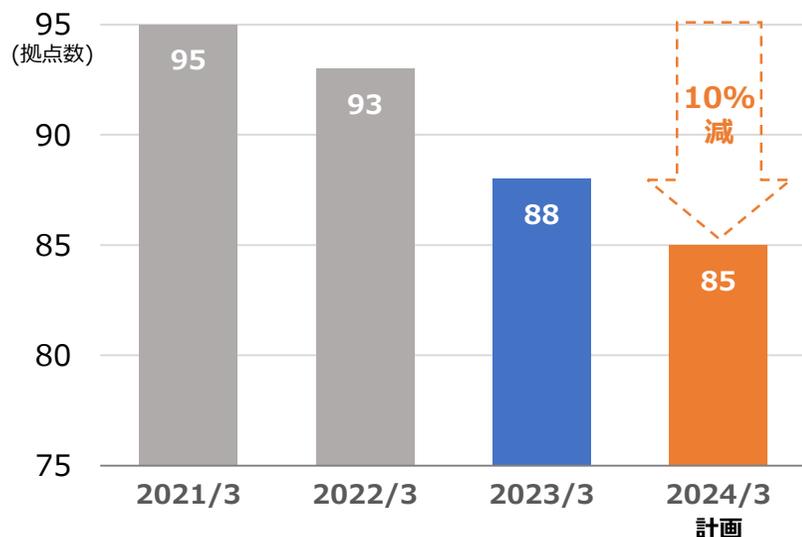
生産性向上戦略

生産性向上戦略の一環として、効率的な店舗戦略を推進

店頭事務の削減と広域店舗ネットワークの再構築

- 高コスト店の統廃合
- 個人営業中心で軽量型のスマート店の展開
- 店頭事務の大幅削減
 - 事務簡素化、デジタル化、事務集中化
- 営業店をコミュニティ形成の「場」へ
 - 営業店空きスペースの有効活用

拠点数の推移



<取り組み状況>

- ・ ポーチェ重信出張所（2022年5月重信支店と統合 重信エリアの広域化）
- ・ ポーチェ川之石出張所（2022年6月営業終了 八幡浜エリアの広域化）
- ・ ポーチェ松未出張所（2022年8月営業終了 桑原エリアの広域化）
- ・ 金生支店（2022年10月川之江支店と統合 川之江エリアの広域化）
- ・ ポーチェ味生出張所（2023年2月営業終了 空港通エリアの広域化）

<予定されている店舗計画>

- ・ 西条支店の新築建替に伴い、西条エリア内にあるポーチェ飯岡出張所は、営業終了し、また、ローンセンター西条を西条支店に移転併設することで、経営資源（設備・人財）を集中



◀ 2023年6月
西条支店
グランドオープン

(参考) 主要KPI

(参考) 主要KPI

		2023/3期 実績	2024/3期 計画
▼ コンサルティング戦略			
	投資信託残高	596億円	1,000億円
	積立投資信託 月次買付額	7.8億円	10億円
	ネット投信比率	26.2%	50%
個人	平準払い保険 取扱件数	779件	1,000件
	相続・贈与等にかかる 信託商品取扱件数	178件	100件
法人	事業性評価の 実施件数 (累計)	5,096件	6,000件
	コンサルティング関連 手数料	6億円	7億円
▼ 経営管理態勢強化			
	RORA※ (年率換算)	0.58%	0.51%

※ RORA (Return on Risk-Weighted Assets) = コア業務純益 ÷ リスクアセット

		2023/3期 実績	2024/3期 計画
▼ デジタル戦略			
	ひめぎんアプリ お客さま利用率	27.3%	20%
	ダイレクトチャネル 非対面受付件数	1,139件/月	1,500件/月
▼ 人財戦略			
	FP2級取得率	51.1%	70%以上
	女性管理職比率	10.4%	15%以上

トピックス

投資一任契約「ひめぎんラップ」取扱開始 (2023年4月)

- AIを活用して毎月ダイナミックな資産配分変更を行い、ポートフォリオ全体のリスクをコントロール
- 初めて資産運用を始める方から経験豊富な方まで多くのお客さまにとっての最善の利益を追求

本資料は、決算の概要や経営方針等のご案内を目的としたもので、
当行が発行する有価証券の投資勧誘あるいは取引の推奨を目的
とするものではありません。

将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化などによって
異なる可能性があることにご留意ください。

お問い合わせ先

愛媛銀行 企画広報部

TEL 089-933-1111 FAX 089-933-1027

ホームページアドレス <https://www.himegin.co.jp/>